



第49回

滋賀県政世論調査

平成28年度  
(2016年度)

滋 賀 県

# 第1章 調査概要

## 報告書のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つの選択肢を集約した場合（「とても良いと思う」と「良いと思う」を合計した『良い』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- (4) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- (5) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。



## 1. 調査目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する主要課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政をすすめるうえでの基礎資料とする。

## 2. 調査期間

平成28年6月2日（木）～平成28年6月20日（月）

## 3. 調査設計

調査地域	滋賀県内全域
調査対象	県内在住の満20歳以上の男女個人(外国人を含む)
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿（日本人）、住民基本台帳（外国人）
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査票	日本語

## 4. 調査方法

郵送法・オンライン調査法の併用、無記名方式、督促1回

注1) オンライン調査は、県が運用している「しがネット受付サービス」(インターネットを利用して申請や申込等の手続きができるサービス)の利用によることとした。全対象者に、個別の「利用者ID」と「パスワード」を付与し、「しがネット受付サービス」内の「滋賀県政世論調査」のフォームにログインして、回答してもらった。

## 5. 調査機関

株式会社 地域未来研究所

## 6. 調査項目

- (1) 県政全体に関する満足度について
- (2) 県の広報・広聴活動について
- (3) 原子力災害時の行動について
- (4) 「しがエネルギービジョン」について
- (5) ICTの利活用について
- (6) 琵琶湖の保全および再生について
- (7) 子どもたちへの教育について

## 7. 標本構成

### (1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

大津	大津市
湖南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀	甲賀市、湖南市
東近江	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北	長浜市、米原市
湖西	高島市

### (2) 標本数の配分

各地域規模の層における20歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4)調査結果の集計表示方法」を参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

	推定母集団（人）		標本数（人）		地点数 （地点）
		うち外国人		うち外国人	
大津	275,553	2,771	703	7	47
湖南	255,654	2,591	651	6	45
甲賀	118,106	2,620	302	7	21
東近江	186,553	2,522	476	6	34
湖東	124,272	1,507	318	4	25
湖北	129,838	1,973	331	4	23
湖西	42,931	323	219	3	15
合計	1,132,906	14,306	3,000	37	210

注2) 抽出地点は、平成27年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注3) 推定母集団は、以下のように算出した。

- ・日本国籍のものは、平成27年1月1日現在の住民基本台帳登録者数をベースに算出した。
  - ・外国籍のものは、平成26年12月末現在の住民基本台帳人口調査結果（外国人人口集計表）をベースに、「在留外国人統計」（法務省）（平成26年12月末現在）の成人比率で補正し、算出した。
- なお、推定母集団（うち外国人）は、四捨五入して表示しているため、各市町の合計値と県計は一致しない。また、標本数（うち外国人）は市町毎に算出しているため、各市町の合計値と県計に外国人比率を乗じた値とは一致しない。

### (3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,557件で、有効回収率は全体で51.9%となった。

なお、郵送とインターネットの両方で回答があったものについては、インターネット回答のみを有効とした。

	標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)	※参考 ネット回答割 合
			うちネット回 答		
大津	703	355	51	50.5	14.4%
湖南	651	349	61	53.6	17.5%
甲賀	302	154	22	51.0	14.3%
東近江	476	248	38	52.1	15.3%
湖東	318	164	31	51.6	18.9%
湖北	331	174	24	52.6	13.8%
湖西	219	101	14	46.1	13.9%
不明・無回答		12	2	—	16.7%
合計	3,000	1,557	243	51.9	15.6%

※ネット回答割合は、有効回収数（郵送+オンライン）に占めるネット回答の割合

### (4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下の通りの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

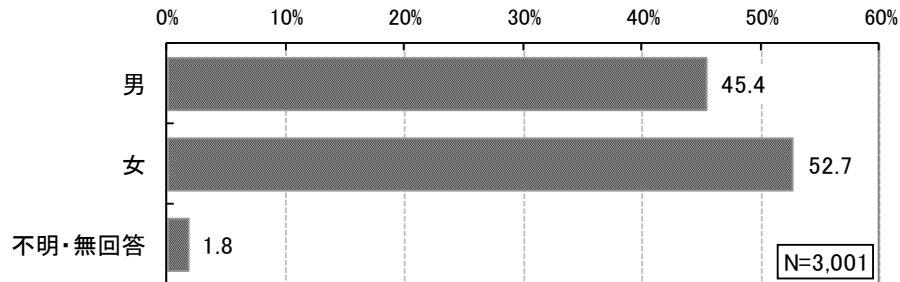
	抽出 ウェイト	標本数 (人)	有効回収数 (件)	集計 ウェイト	規正標本数 (件)
大津	1 / 2	703	355	2	710
湖南	1 / 2	651	349	2	698
甲賀	1 / 2	302	154	2	308
東近江	1 / 2	476	248	2	496
湖東	1 / 2	318	164	2	328
湖北	1 / 2	331	174	2	348
湖西	1	219	101	1	101
不明・無回答			12	—	12
合計	—	3,000	1,557	—	3,001

## 8. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、居住地域別、職業別、勤務地（通学地）別、居住歴別にみた結果を示す。

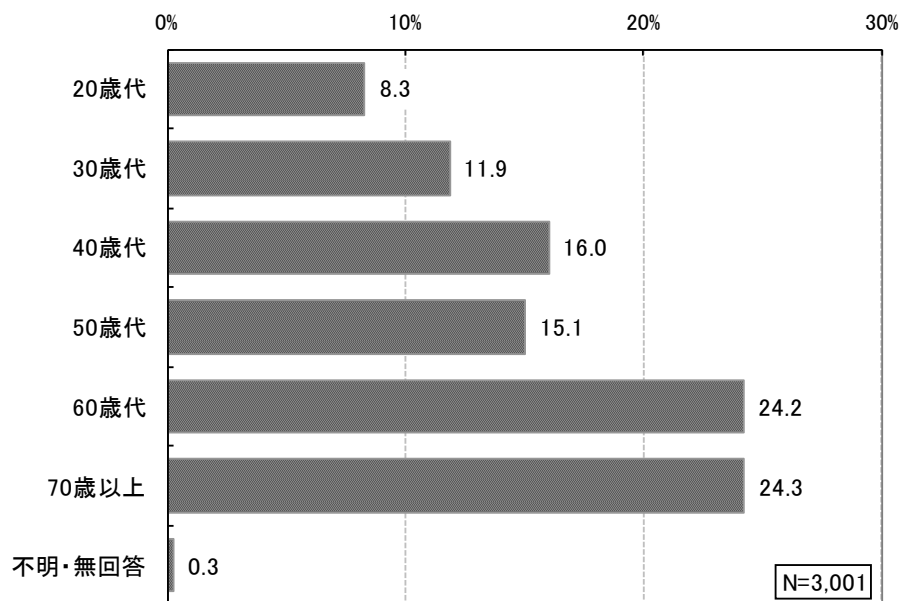
### （1）性別

性別は、「女性」が52.7%、「男性」が45.4%となっている。



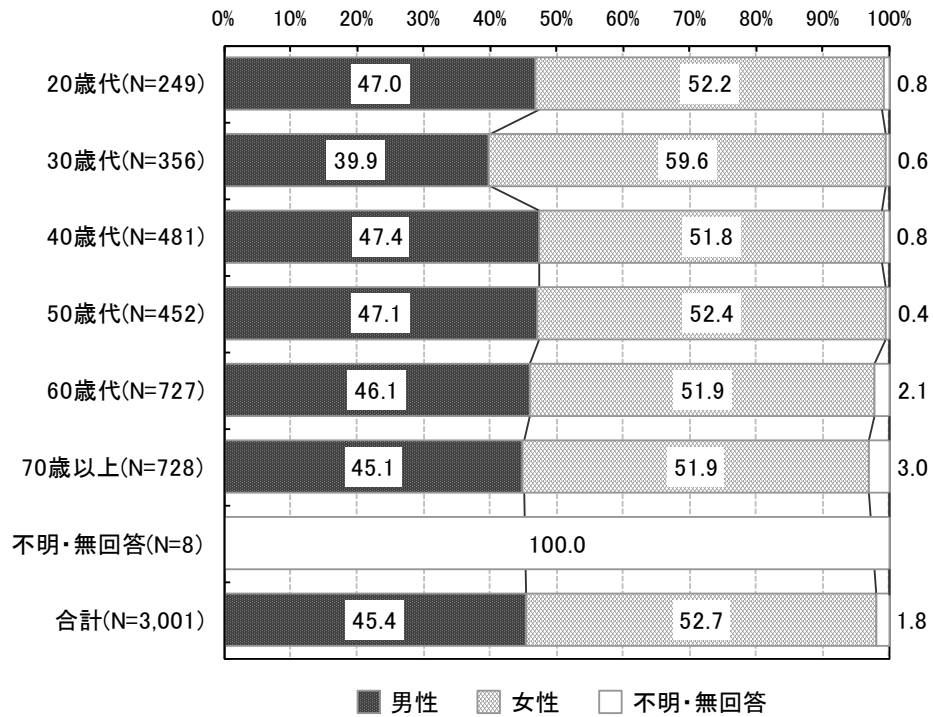
### （2）年代別

年代は、「70歳以上」が24.3%で最も多く、以下、「60歳代」が24.2%、「40歳代」が16.0%と続いている。



(3) 性・年代別

性・年代別の構成をみると、すべての年代で女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。

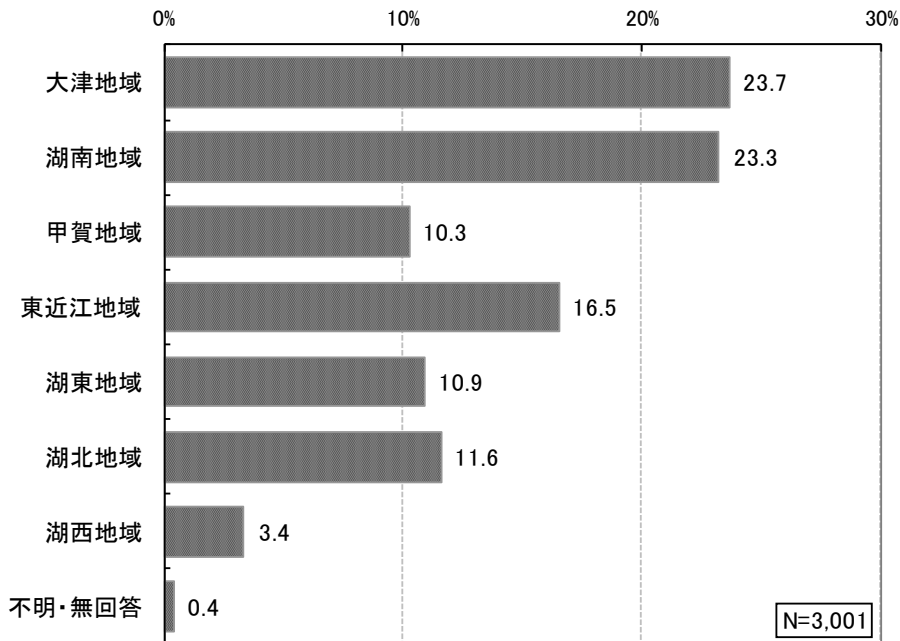


	規正標本数 (件)	男性 (%)	女性 (%)	不明・無回答 (%)
20歳代	249	47.0	52.2	0.8
30歳代	356	39.9	59.6	0.6
40歳代	481	47.4	51.8	0.8
50歳代	452	47.1	52.4	0.4
60歳代	727	46.1	51.9	2.1
70歳以上	728	45.1	51.9	3.0
不明・無回答	8	0.0	0.0	100.0
合計	3,001	45.4	52.7	1.8



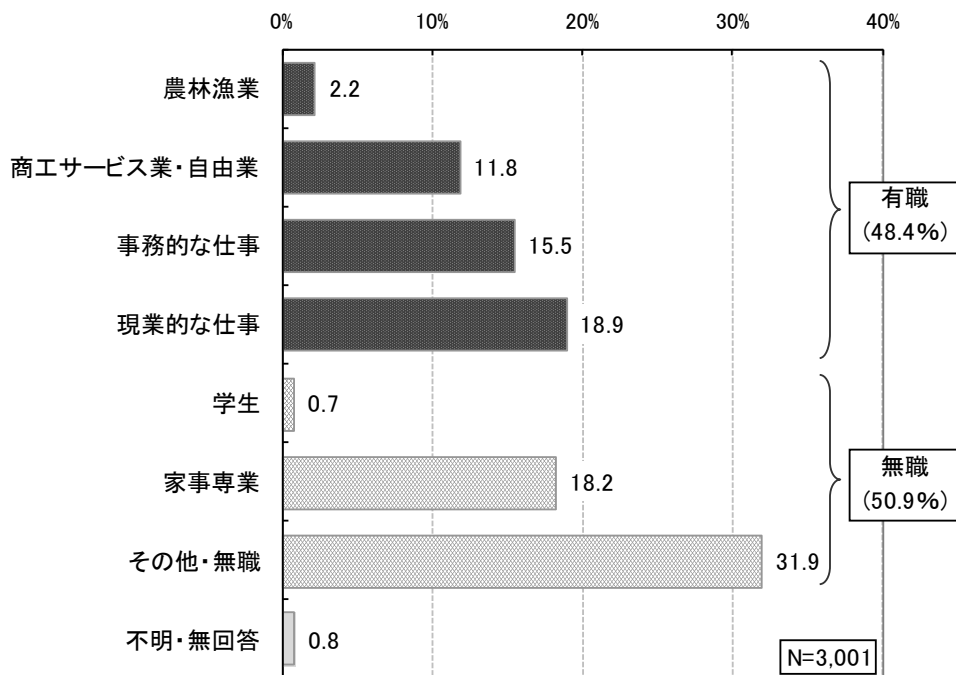
#### (4) 居住地域別

居住地域は、「大津地域」が23.7%で最も多く、以下、「湖南地域」が23.3%、「東近江地域」が16.5%と続いている。



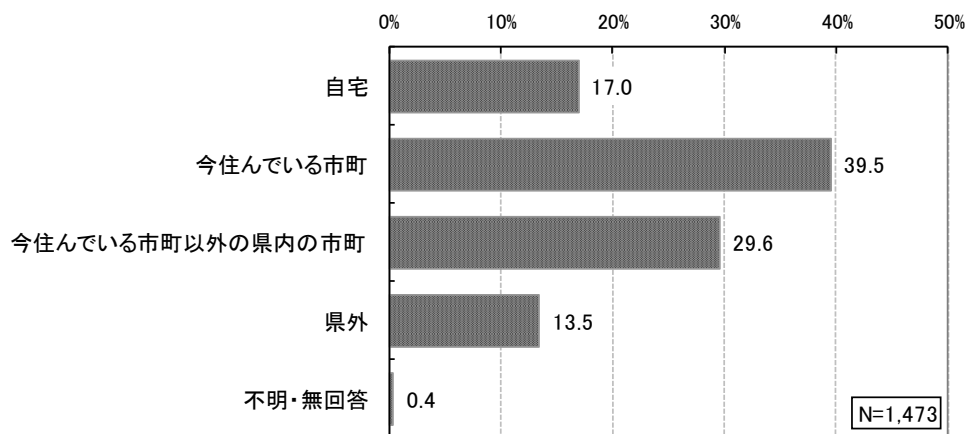
#### (5) 職業別

職業は、有職が48.4%となっており、そのうち「現業的な仕事」が18.9%で最も多く、次いで「事務的な仕事」が15.5%となっている。これに対して無職(※その他含む)は50.9%となっており、そのうち「その他・無職」が31.9%で最も多く、次いで「家事専業」が18.2%となっている。



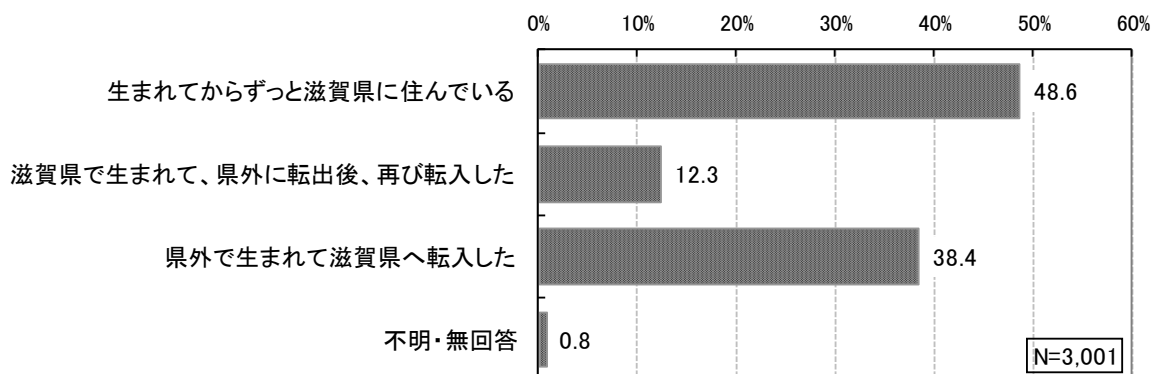
### (付問1) 勤務地(通学地)別

「農林漁業」「商工サービス業・自由業」「事務的な仕事」「現業的な仕事」「学生」と回答した人に対して、勤務地(通学地)をたずねたところ、「今住んでいる市町」が39.5%で最も多く、次いで「今住んでいる市町以外の県内の市町」が29.6%となっている。



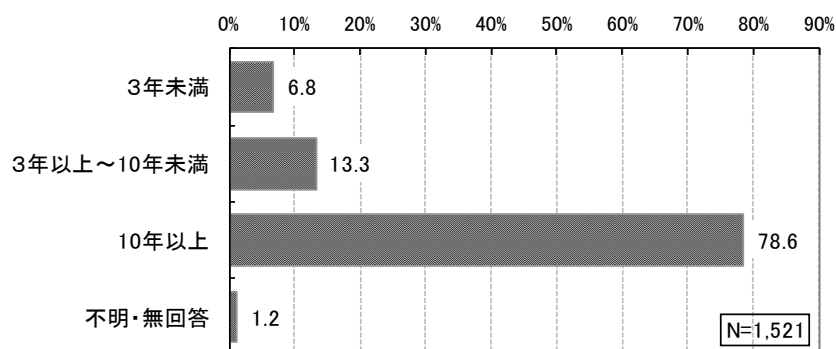
### (6) 滋賀県での居住歴別

居住歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が48.6%で最も多く、次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が38.4%となっている。



### (付問1) 滋賀県転入後の居住年数別

「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に対して、転入後の居住年数をたずねたところ、「10年以上」が78.6%で最も多くなっている。



## 6 琵琶湖の保全および再生について（問 26～30、報告書 p. 132～143）

### 【結果概要】

#### ①担当課

琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 計画係

#### ②調査目的

「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」の認知状況、琵琶湖を保全・再生していくために特に力を入れるべき取り組み、普段の暮らしの中での琵琶湖との関わり、琵琶湖の価値として重視するもの、日頃の環境保全行動の実施状況についての調査を行い、琵琶湖保全再生施策に関する計画の策定や各種施策の検討に際しての基礎資料とする。

#### ③調査結果の分析・考察

- 「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」の認知状況（問26、p. 132）では、『認知率（内容まで）』は9.2%、内容までは知らないと回答した人を合わせた『認知率』は42.3%となった。法律の内容も含めて、さらに多くの方に認知していただけるよう、情報発信に努める必要がある。
- 琵琶湖を保全・再生していくために特に力を入れるべき取り組み（問27、p. 134）では、「琵琶湖の水質改善」が49.0%で最も高く、次いで「ブラックバスやブルーギルなど外来生物対策」が35.0%、「琵琶湖の水の水源となる森林の整備・保全」が31.2%となった。これらのことから、特に水に関する取組や外来生物対策が重視されているとうかがえる。
- 普段の暮らしの中での琵琶湖との関わり（問28、p. 137）では、「花火大会やドライブなどのために湖を訪れる」が48.4%で最も高く、次いで「湖で獲れた湖魚を使った料理を食べる」が28.8%、「散歩、ジョギング、サイクリングなどのために湖岸を訪れる」が28.2%となった。一方、「関わっていない」と回答した人は15.7%となっており、全体のおよそ8割の人が何らかの関わりを持っていることがうかがえる。
- 琵琶湖の価値として重視するもの（問29、p. 140）では、「水源としての価値」が53.7%で最も高く、次いで「観光資源としての価値」が12.2%、「古代湖としての価値」が11.0%となった。これらのことから、琵琶湖＝水源という意識が高いことがうかがえる。
- 日頃、環境保全行動を行っているか（問30、p. 142）では、『行っている』が65.7%、『行っていない』が29.8%となっており、環境保全行動を行っている人は平成27年度の80.9%から減少している。

#### ④今後の施策への反映

今回の調査結果から、県民の琵琶湖の保全および再生に対する意識や実践行動の状況等を把握することができた。

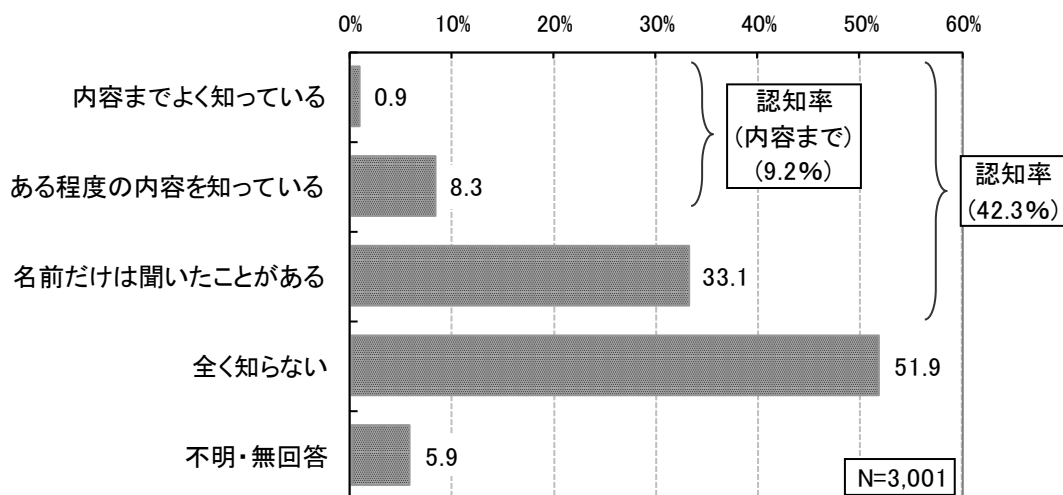
調査結果については、滋賀県環境審議会で報告するとともに、琵琶湖保全再生施策に関する計画の策定や各種施策の検討に活用していく。

【結果表・グラフ】

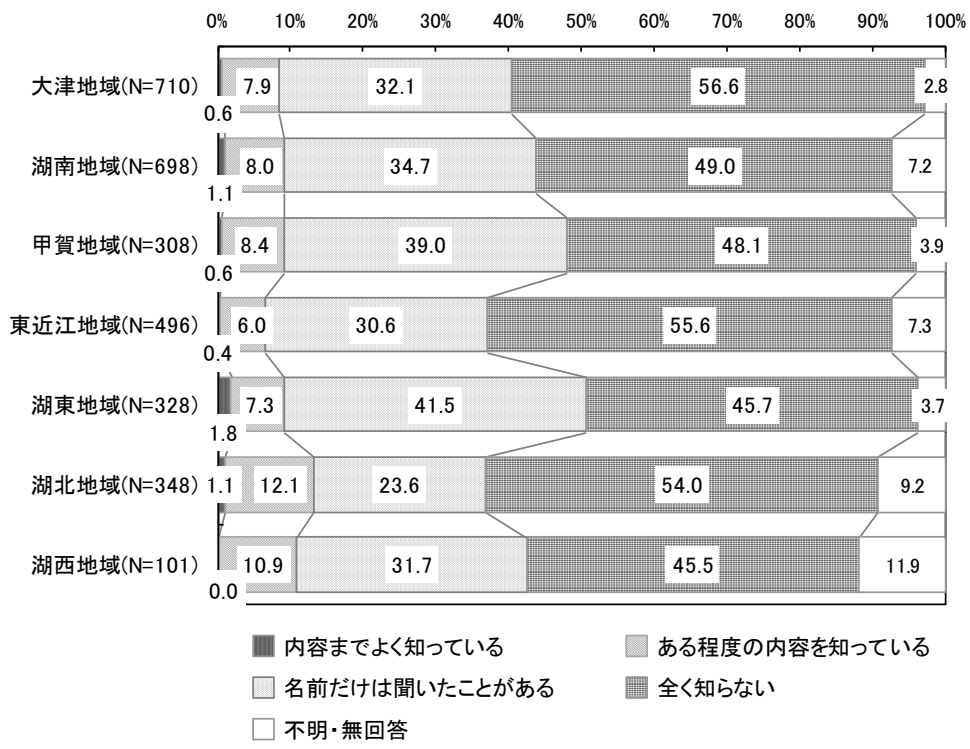
(1)「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」の認知状況

問26 平成27年9月に「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が公布・施行されましたが、あなたはこの法律を知っていますか。(〇は1つだけ)

※『認知率 (内容まで認知)』:  
「内容までよく知っている」と「ある程度の内容を知っている」の合計  
※『認知率』:  
『認知率 (内容まで認知)』と「名前だけは聞いたことがある」の合計

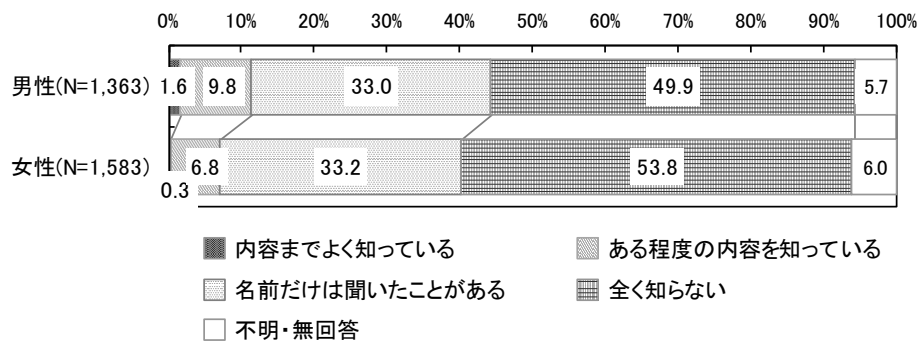


【地域別】



『認知率』 (内容まで)	『認知率』
8.5%	40.6%
9.2%	43.8%
9.1%	48.1%
6.5%	37.1%
9.1%	50.6%
13.2%	36.8%
10.9%	42.6%

【性別】

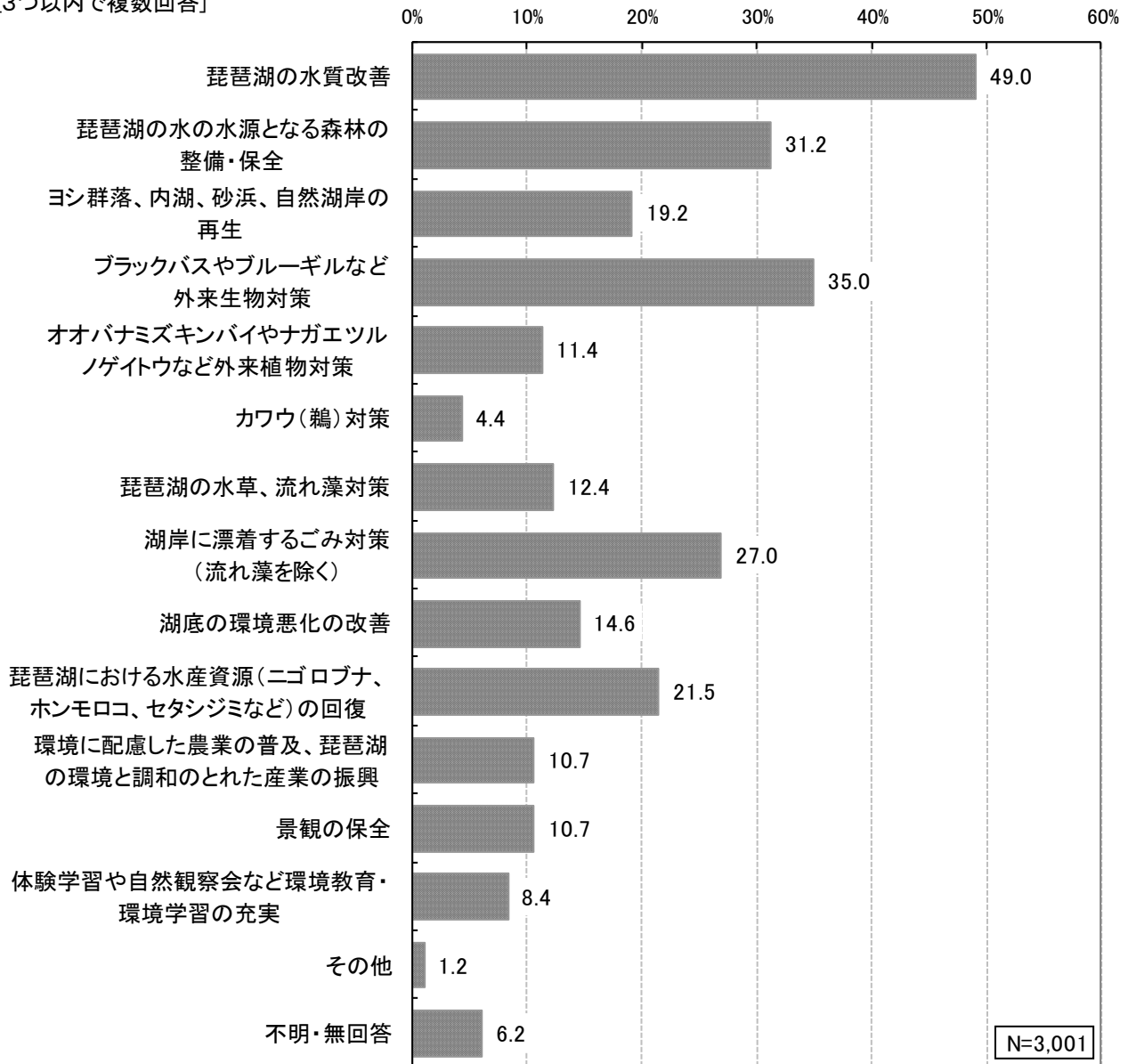


『認知率』 (内容まで)	『認知率』
11.4%	44.4%
7.1%	40.2%

(2) 琵琶湖を保全・再生していくために特に力をいれるべき取り組み

問27 琵琶湖を保全・再生していくために、あなたはどのような取り組みに特に力を入れていく必要があると考えていますか。(〇は3つまで)

[3つ以内で複数回答]



【地域別】

琵琶湖を保全・再生していくために 特に力をいれるべき取り組み (3つ以内で複数回答)	今回調査		地域別															
			大津地域		湖南地域		甲賀地域		東近江地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域			
			(N=3,001)		(N=710)		(N=698)		(N=308)		(N=496)		(N=328)		(N=348)		(N=101)	
			%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1 琵琶湖の水質改善	49.0	1	51.5	1	50.4	1	45.5	1	48.4	1	48.8	1	47.1	1	42.6	1		
2 琵琶湖の水の水源となる森林の整備・保全	31.2	3	36.9	2	30.1	3	33.1	2	27.0	3	28.7	4	29.9	3	27.7	3		
3 ヨシ群落、内湖、砂浜、自然湖岸の再生	19.2	6	19.4	5	21.5	6	16.2	6	18.1	6	19.5	6	16.7	6	21.8	4		
4 ブラックバスやブルーギルなど 外来生物対策	35.0	2	36.1	3	34.4	2	29.9	4	37.1	2	29.9	3	38.5	2	42.6	1		
5 オオバナミズキンバイや ナガエツルノゲイトウなど外来植物対策	11.4	9	11.8	9	13.2	8	11.0	8	8.9	11	11.0	10	10.9	8	11.9	9		
6 カワウ(鶺鴒)対策	4.4	13	2.3	13	3.7	13	2.6	13	4.0	13	4.3	13	10.9	8	10.9	12		
7 琵琶湖の水草、流れ藻対策	12.4	8	18.0	6	11.2	9	8.4	12	11.7	9	9.1	12	10.3	11	12.9	8		
8 湖岸に漂着するごみ対策(流れ藻を除く)	27.0	4	25.1	4	26.9	4	33.1	2	27.0	3	31.7	2	23.6	5	20.8	5		
9 湖底の環境悪化の改善	14.6	7	17.7	7	14.9	7	11.0	8	15.3	7	12.8	8	11.5	7	14.9	7		
10 琵琶湖における水産資源(ニゴロブナ、 ホンモロコ、セタシジミなど)の回復	21.5	5	17.7	7	22.9	5	25.3	5	21.4	5	20.7	5	25.3	4	17.8	6		
11 環境に配慮した農業の普及、琵琶湖 の環境と調和のとれた産業の振興	10.7	11	9.6	11	10.9	10	10.4	10	11.3	10	12.8	8	9.2	12	11.9	9		
12 景観の保全	10.7	10	10.1	10	10.0	11	11.7	7	12.1	8	9.8	11	10.9	8	11.9	9		
13 体験学習や自然観察会など環境教育・ 環境学習の充実	8.4	12	8.7	12	8.0	12	10.4	10	7.3	12	14.0	7	4.0	13	5.9	13		
14 その他	1.2	14	1.1	14	1.4	14	1.3	14	0.8	14	1.8	14	0.6	14	1.0	14		

※小数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。

【性別】

琵琶湖を保全・再生していくために 特に力をいれるべき取り組み (3つ以内で複数回答)		今回調査		性別			
				男性		女性	
		(N=3,001)		(N=1,363)		(N=1,583)	
		%	順位	%	順位	%	順位
1	琵琶湖の水質改善	49.0	1	49.8	1	48.6	1
2	琵琶湖の水の水源となる森林の整備・保全	31.2	3	29.3	3	32.8	2
3	ヨシ群落、内湖、砂浜、自然湖岸の再生	19.2	6	21.3	6	17.3	6
4	ブラックバスやブルーギルなど 外来生物対策	35.0	2	37.8	2	32.6	3
5	オオバナミズキンバイや ナガエツルノゲイトウなど外来植物対策	11.4	9	12.5	7	10.5	9
6	カワウ(鶺鴒)対策	4.4	13	5.3	13	3.6	13
7	琵琶湖の水草、流れ藻対策	12.4	8	12.2	10	12.4	8
8	湖岸に漂着するごみ対策(流れ藻を除く)	27.0	4	24.7	4	29.4	4
9	湖底の環境悪化の改善	14.6	7	12.5	7	16.4	7
10	琵琶湖における水産資源(ニゴロブナ、 ホンモロコ、セタシジミなど)の回復	21.5	5	22.4	5	20.7	5
11	環境に配慮した農業の普及、琵琶湖 の環境と調和のとれた産業の振興	10.7	11	11.5	11	9.6	11
12	景観の保全	10.7	10	12.3	9	9.5	12
13	体験学習や自然観察会など環境教育・ 環境学習の充実	8.4	12	6.4	12	10.2	10
14	その他	1.2	14	1.7	14	0.8	14

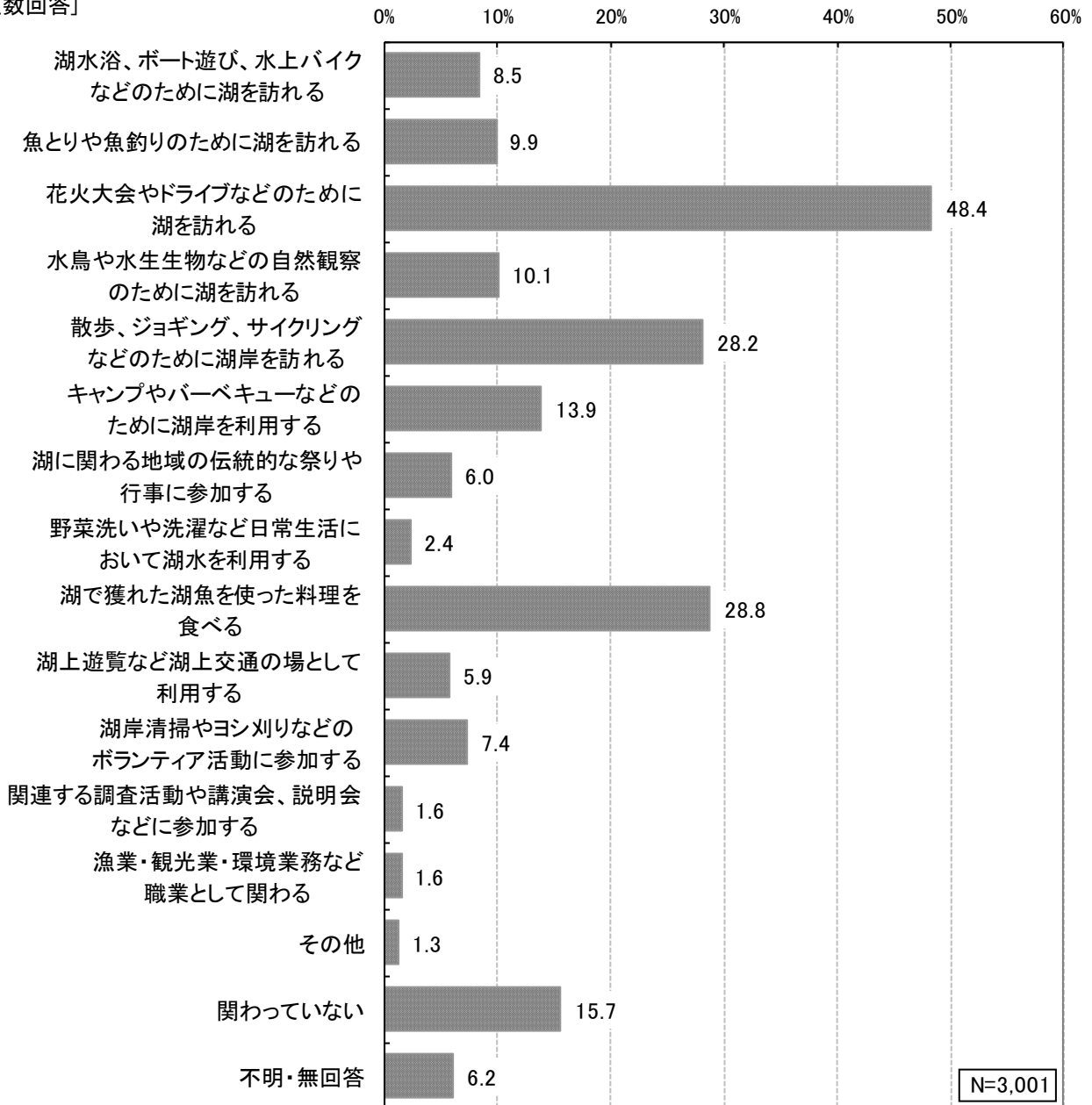
※小数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。



(3) 普段の暮らしの中での琵琶湖との関わり

問28 あなたは、普段の暮らしの中で、琵琶湖とどのように関わっていますか。(〇はいくつでも)

[複数回答]



【地域別】

普段の暮らしの中での琵琶湖との関わり (複数回答)	今回調査		地域別													
			大津地域		湖南地域		甲賀地域		東近江地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域	
			(N=3,001)		(N=710)		(N=698)		(N=308)		(N=496)		(N=328)		(N=348)	
%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	
1 湖水浴、ボート遊び、水上バイクなどのために湖を訪れる	8.5	8	10.4	8	6.6	8	11.7	4	6.9	7	10.4	6	6.3	8	8.9	8
2 魚とりや魚釣りのために湖を訪れる	9.9	7	11.0	6	11.5	7	8.4	6	6.0	8	12.8	4	9.2	6	6.9	10
3 花火大会やドライブなどのために湖を訪れる	48.4	1	47.0	1	50.4	1	47.4	1	46.4	1	55.5	1	47.7	1	39.6	1
4 水鳥や水生生物などの自然観察のために湖を訪れる	10.1	6	9.9	10	12.3	6	7.8	8	7.7	6	9.8	7	10.9	5	11.9	6
5 散歩、ジョギング、サイクリングなどのために湖岸を訪れる	28.2	3	43.4	2	30.7	2	7.8	8	12.1	5	33.5	3	28.2	3	29.7	3
6 キャンプやバーベキューなどのために湖岸を利用する	13.9	5	14.6	4	18.3	4	11.7	4	16.1	4	8.5	8	6.9	7	16.8	4
7 湖に関わる地域の伝統的な祭りや行事に参加する	6.0	10	10.1	9	6.6	8	1.9	12	2.0	12	5.5	10	5.2	10	7.9	9
8 野菜洗いや洗濯など日常生活において湖水を利用する	2.4	12	2.5	12	2.0	12	3.9	10	2.4	11	3.0	12	1.1	14	3.0	11
9 湖で獲れた湖魚を使った料理を食べる	28.8	2	22.5	3	24.1	3	18.2	3	29.8	2	39.6	2	47.1	2	36.6	2
10 湖上遊覧など湖上交通の場として利用する	5.9	11	7.9	11	5.4	11	8.4	6	3.6	10	4.9	11	5.7	9	2.0	12
11 湖岸清掃やヨシ刈りなどのボランティア活動に参加する	7.4	9	10.7	7	6.0	10	1.9	12	5.6	9	12.2	5	5.2	10	10.9	7
12 関連する調査活動や講演会、説明会などに参加する	1.6	13	2.3	13	1.4	14	0.6	14	1.2	13	2.4	13	1.7	13	1.0	14
13 漁業・観光業・環境業務など職業として関わる	1.6	14	1.1	15	1.7	13	3.9	10	0.0	15	1.8	14	2.3	12	1.0	14
14 その他	1.3	15	2.3	13	0.9	15	0.6	14	0.8	14	1.8	14	1.1	14	2.0	12
15 関わっていない	15.7	4	13.2	5	16.0	5	24.7	2	20.2	3	7.9	9	12.1	4	16.8	4

※小数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。

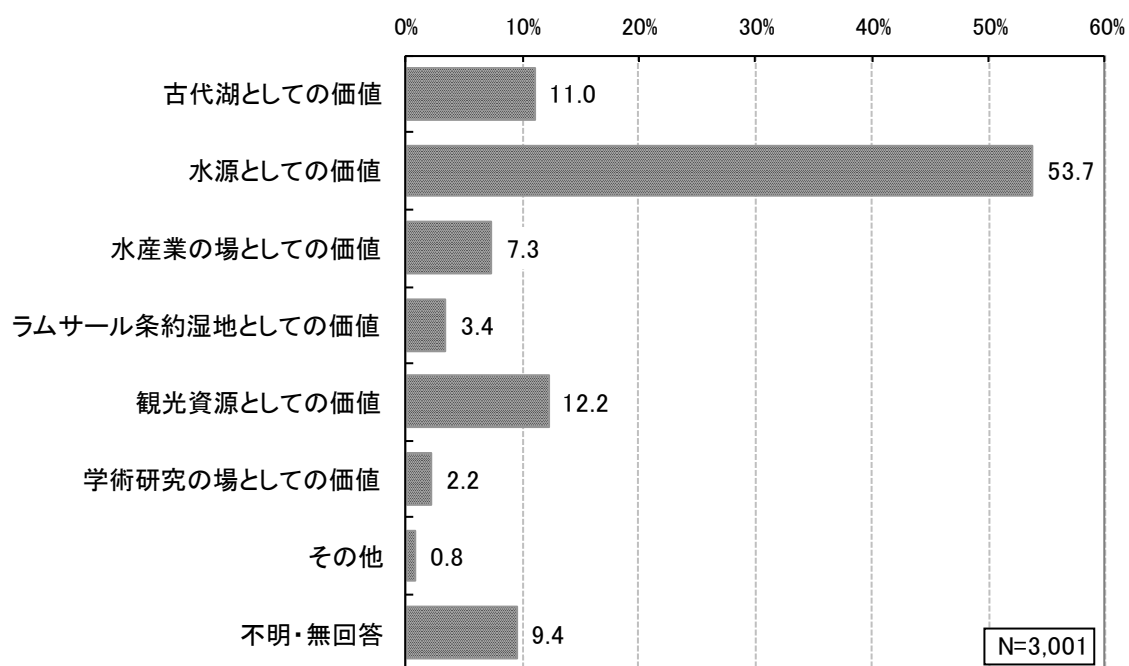
【性別】

普段の暮らしの中での琵琶湖との関わり (複数回答)	今回調査		性別			
			男性		女性	
	(N=3,001)		(N=1,363)		(N=1,583)	
	%	順位	%	順位	%	順位
1 湖水浴、ボート遊び、水上バイクなどのために湖を訪れる	8.5	8	10.3	7	7.2	7
2 魚とりや魚釣りのために湖を訪れる	9.9	7	13.9	6	6.4	9
3 花火大会やドライブなどのために湖を訪れる	48.4	<b>1</b>	45.9	<b>1</b>	51.0	<b>1</b>
4 水鳥や水生生物などの自然観察のために湖を訪れる	10.1	6	10.3	8	9.6	6
5 散歩、ジョギング、サイクリングなどのために湖岸を訪れる	28.2	<b>3</b>	30.4	<b>2</b>	26.5	<b>3</b>
6 キャンプやバーベキューなどのために湖岸を利用する	13.9	<b>5</b>	14.2	<b>5</b>	14.0	<b>5</b>
7 湖に関わる地域の伝統的な祭りや行事に参加する	6.0	10	7.0	10	5.1	11
8 野菜洗いや洗濯など日常生活において湖水を利用する	2.4	12	1.7	14	3.2	12
9 湖で獲れた湖魚を使った料理を食べる	28.8	<b>2</b>	26.9	<b>3</b>	30.3	<b>2</b>
10 湖上遊覧など湖上交通の場として利用する	5.9	11	5.5	11	6.3	10
11 湖岸清掃やヨシ刈りなどのボランティア活動に参加する	7.4	9	8.2	9	6.6	8
12 関連する調査活動や講演会、説明会などに参加する	1.6	13	1.8	13	1.5	13
13 漁業・観光業・環境業務など職業として関わる	1.6	14	1.9	12	1.3	14
14 その他	1.3	15	1.6	15	1.1	15
15 関わっていない	15.7	<b>4</b>	14.9	<b>4</b>	16.2	<b>4</b>

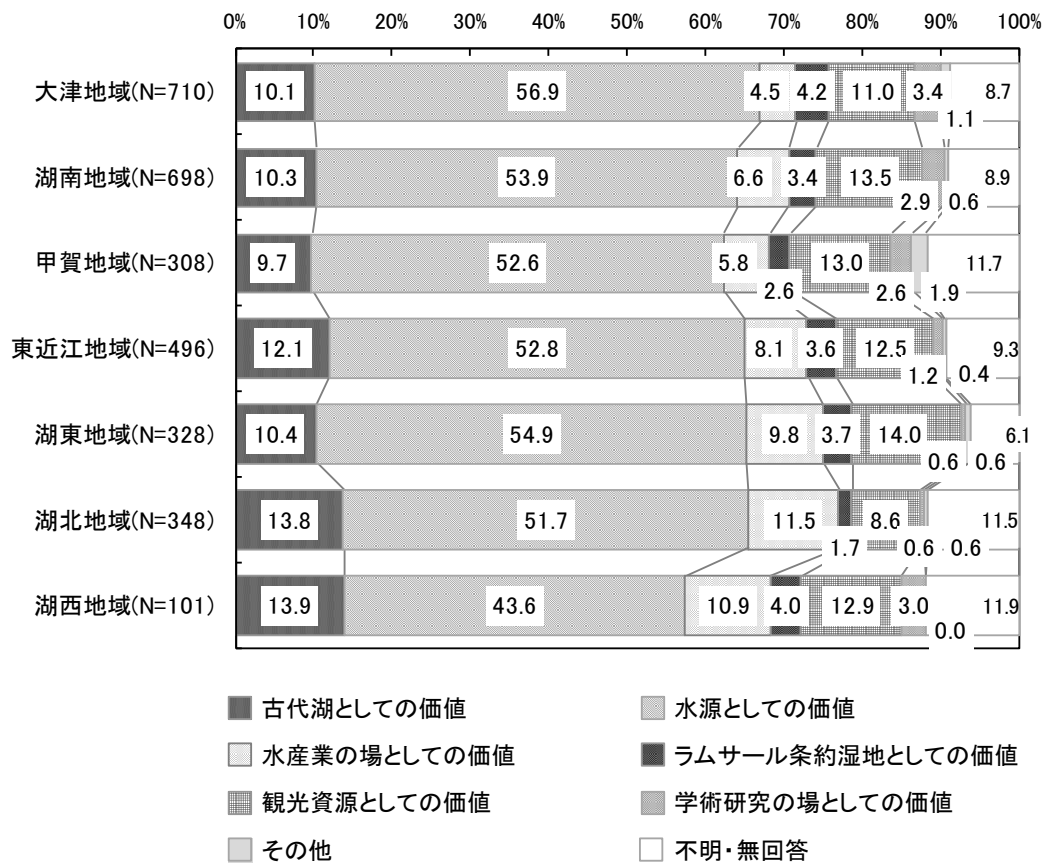
※小数第2位以下の計算結果も考慮し順位をつけています。

(4) 琵琶湖の価値として重視するもの

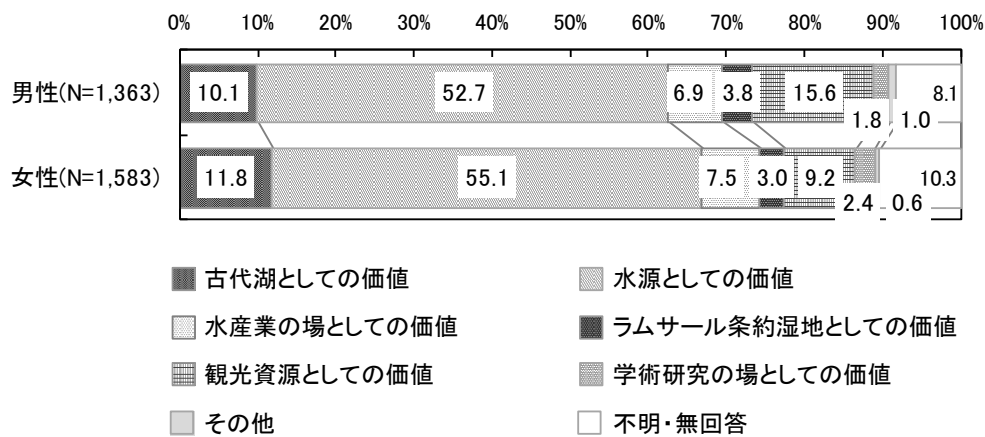
問29 あなたが琵琶湖の価値として重視するものを教えてください。(○は1つだけ)



【地域別】



【性別】

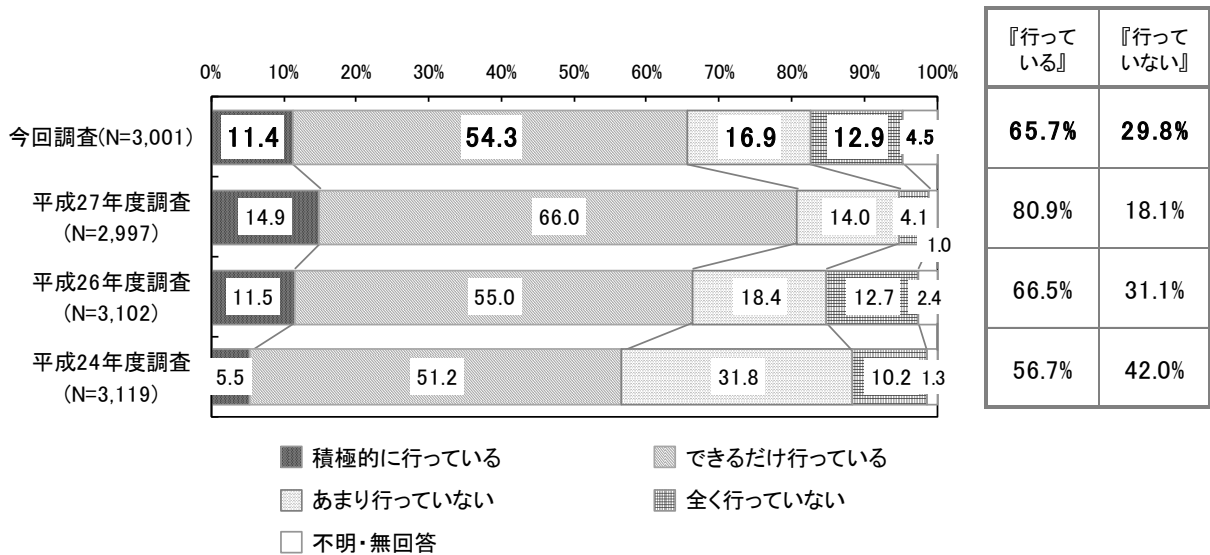


(5) 日頃、環境保全行動を行っているか

問30 あなたは、日頃、環境保全行動\*を行っていますか。(○は1つだけ)

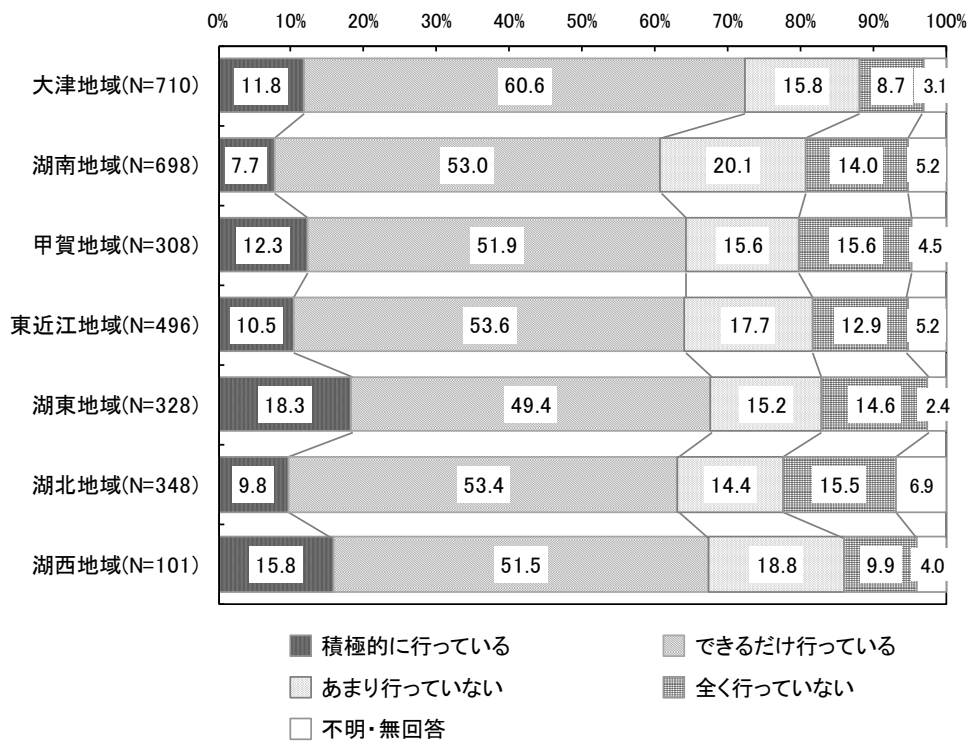
\*環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加、レジ袋をもらわないなど、環境の保全のために行われる行動のこと

※『行っている』:「積極的に行っている」と「できるだけ行っている」の合計  
 ※『行っていない』:「あまり行っていない」と「全く行っていない」の合計



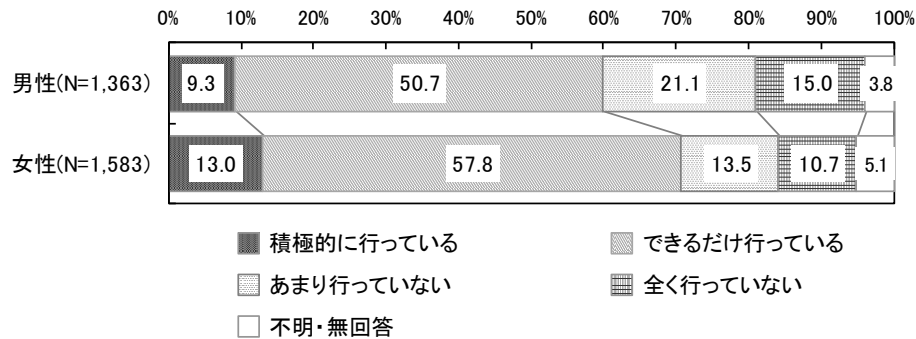
注) 平成26年・平成24年度とは「環境保全行動」の説明文が異なる、平成24年度とは選択肢の文言が一部異なる

【地域別】



『行っている』	『行っていない』
72.4%	24.5%
60.7%	34.1%
64.3%	31.2%
64.1%	30.6%
67.7%	29.9%
63.2%	29.9%
67.3%	28.7%

【性別】



『行っている』	『行っていない』
60.0%	36.2%
70.8%	24.1%